

**備蓄食糧435食分 エネジンが寄贈**

市社協に

LPガス販売のエネジン（浜松市中区）は十八日、生活困窮者を支援しようと、同市社会福祉協議会に災害用備蓄食糧四百三十五食分を寄贈した。市内の子ども食堂十一団体と、フードバンクで活用される。

同社は地域のライフラインを担う立場として、普段から多くの非常食を備えている。食糧面で生活困窮者への支援になればと、アルファ化米や缶入りパンなどを寄贈した。

寄贈式で、藤田源右衛門社長（写真左）は「よりおいしく食べてもらえるよう、非常食のアレンジレシピをプロに教わり、動画配信も始めた。ぜひ寄贈先の方々に活用してもらえたら」と話した。

受け取った市社協の寺田賢次会長（同右）は「コロナ禍で生活に困っている人がいるので、ありがたい。ぜひ今後も継続してご支援いただけたら」と感謝した。

アレンジレシピの「焼カレードリア」と「ビスケットのマッシュマロサンド」は、寄贈先に配るチラシに添付されるほか同社ホームページからも見ることができると見せる。 （細谷真里）



2021年（令和3年）11月20日（土）中日新聞